

研修報告

支援相談員基礎研修（介護保険関連研修委員会）

◇研修日：

支援相談員基礎研修① 2019年10月26日（土）10：00～16：30

支援相談員基礎研修② 2019年11月30日（土）13：30～16：30

支援相談員基礎研修③ 2019年12月14日（土）13：30～16：30

◇テーマ：①『支援相談員のポジショニング』、②『支援相談員の面接技術』③『支援相談員の援助技術の実際』

◇会場：①みなと医療生協レインボーセンター、②ウインクあいち、③ウインクあいち

◇参加人数：①19名、②24名、③22名



◇アンケート

① 『支援相談員のポジショニング』

講師：片山 徹 氏（日本福祉大学 健康科学部リハビリテーション学科 准教授）

■支援相談員の役割をとて理解できました。何でも屋さんでも、しっかり相談員の知識を見出せることが出来るようになりたいと思いました。

■日々の業務を振り返りイメージしながら、グループワークに取り組むことができて良かった。他の老健がどのような体制でSWとしての業務にあたっているのかを情報交換できたことで、どのような状況であってもSWとしてどうあるべきかは変わらないと思えた。

■相談員のポジショニング、何を大事に（大切に）して支援していけばいいのか学ぶことができて良かった。

② 『支援相談員の面接技術』 講師：加藤 良子 氏（大学非常勤講師）

■実際の面接に生かせる技術を学ぶことができ、とても勉強になりました。

■面接技術の理論と実践が一緒に学べてよかったです。実践と結びつくことで、理論がすんなり、入ってきました。同席の方とお話出来て、色々なお話、情報が知れて良かったです。

■改めて面接技術を学ばせて頂きました。とても分かりやすく、早速実践していきたいと思えます。

③ 『支援相談員の援助技術の実際』 講師：介護保険関連研修委員

■事例検討の内容と、日々上司から頂いている言葉がシンクロし、私個人としては、とても貴重な経験と勉強になりました。ありがとうございました。

■事例が良かった。流れる仕事の中で、しっかりとしっかりと振り返ることも大切と感じました。そして、面接技術+情報をかみくだく力をつけていきたいと思えます。

■事例を通して、様々な意見を聞くことができ、学ぶことができた。クリティカルパスも自施設で活用できるようにしたいです。

2019年度「支援相談員基礎研修」を終えて

委員長 石川将弘

サブテーマを「援助の視点・技術・実際を学ぶ」とした全3回の連続講座形式で、一般社団法人愛知県老人保健施設協会の後援を得て、「支援相談員基礎研修」を実施しました。今年度は、超大型の台風接近の影響で第1回が振替開催（開催日と会場が変更）となるという異例の事態となりましたが、研修後のアンケートではどのテーマでも満足度が高く、研修の企画意図が伝わると共に、参加者のニーズに沿った研修を実施することができたと思えます。

2018年4月の介護保険制度改正において、介護老人保健施設の在宅復帰支援機能に対する評価の1つに支援相談員の配置人数が盛り込まれました。これは広く地域を支えることが期待される老健機能の中で専門職であるソーシャルワーカー（支援相談員）への期待が込められていると考えます。その期待を実践できる支援相談員となるべく、今後も本研修が一助となれば幸いです。